

2022年5月26日

報道関係各位

GMO メイクショップ株式会社

**GMO メイクショップとネットイヤーグループが協業し、
「GMO クラウド EC」による BtoB EC の構築・運営をトータルサポート
～EC 構築前の要求整理からマーケティング・運用面まで支援し製造業や建設業の EC 化を促進～**

GMO インターネットグループの GMO メイクショップ株式会社（代表取締役社長：向畑 憲良 以下、GMO メイクショップ）は、EC サイト構築ソリューション「GMO クラウド EC」（URL：<https://www.cloudec.jp/>）を活用した BtoB EC の構築・運営支援において、2022年5月26日（木）より、ネットイヤーグループ株式会社（代表取締役社長 CEO：佐々木 裕彦、以下、ネットイヤーグループ）との協業を開始したことをお知らせいたします。

本協業により、BtoB EC を構築する際に必要な要求整理や業務設計から、構築後のマーケティング、運用面までトータルでサポートいたします。両社は、EC 事業の成功を伴走型で支援するサービスを提供することで、製造業や建設業など BtoB 取引における EC 化の促進を目指していきます。



BtoB EC の構築・運営をトータルサポート

【協業の背景】

経済産業省の発表によると、2020年の BtoB 領域における EC 化率は、前年より 1.8 ポイント増の 33.5%となり成長が続いています。業種別に見ると、製造業の EC 化率は高い傾向にありますが、その中でも食料品製造業は最も EC 化率が高く 63.3%であるのに対し、産業関連機器・精密機器製造業は 38.8%と製造業の中では最も低くなっています。また、建設業の EC 化率は全業種の中で最も低い 13.1%となっており、BtoB 取引でも業種や商材により EC 化率に大きな差が出ています。^(※1)

昨今、新型コロナウイルス感染症の対策による外出自粛のため在宅勤務が広まった影響から、従来の販売方法の見直しが進み、BtoB 取引においても EC 化を検討する企業が増えており、GMO メイクショップにもご相談をいただく機会が増えています。業種や商材により大きく商習慣が異なる BtoB 取引の EC 化においては、それぞれの商習慣に見合った販売方法を整理し、その方法を実現できる EC システムを選ぶことができるかどうか成功の鍵となります。

そこでこの度、GMO メイクショップは、業務設計まで踏み込んだ BtoB 企業向けのマーケティングを支援するネットイヤーグループと協業し、カスタマイズにより複雑な要件の BtoB EC にも対応できる「GMO クラウド EC」での EC 構築・運営をトータルサポートすることで、BtoB 企業の EC 事業の成功を支援します。

(※1) 令和 2 年度産業経済研究委託事業（電子商取引に関する市場調査）より

https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/statistics/outlook/210730_new_hokokusho.pdf

【サービスの概要】

製造業の中でも今後さらなる EC 化が期待される産業関連機器・精密機器製造業や、建設業などの BtoB 取引における EC の構築・運営をご支援いたします。EC 設計前の要求整理や業務設計に加え、構築後のシステム保守やマーケティング支援、運用面の支援まで伴走型でサポートし、EC の運営経験がない BtoB 企業でも安心して EC 化を進めていただくことができます。

EC システムには「GMO クラウド EC」を採用し、販売サイトだけでなくレンタルサイトにも対応いたします。「GMO クラウド EC」は、ASP をベースに追加で必要な機能のみカスタマイズできる『MakeShop エンタープライズプラン』、大規模 EC にも対応できるパッケージ型の『パッケージ EC プラン』、ヘッドレス構成と専用クラウド環境で拡張性が高い『クラウド EC プラン』と 3 つのプランを備えており、事業規模やご予算に応じた複数パターンのご提案内容を用意した上で、最適なものを選択いただくことが可能です。

<協業スキーム図>



【今後の展望】

「GMO クラウド EC」を活用した EC 構築・運営の成功ノウハウの提供にとどまらず、決済サービスの拡充や MA/SFA^(※2) ツールなど外部サービスとの連携も強化し、先進の BtoB マーケティングテクノロジーを駆使して企業の DX 促進に貢献いたします。

(※2) MA=Marketing Automation /SFA=Sales Force Automation

【GMO メイクショップ株式会社について】

GMO メイクショップは、「Commerce for a better future./商取引でより良い未来に」をミッションに掲げ、プラットフォーム事業とシステムインテグレーション事業を展開しています。プラットフォーム事業では、EC 構築支援から、EC マーケティング支援、EC 運用受託まで EC 領域における一気通貫の支援体制を整えており、その中核サービスであるネットショップ構築 ASP「MakeShop byGMO」は、2021 年には年間流通額が 2,749 億円に達し、10 年連続で業界 No.1 を獲得しました。また、主軸となる『プレミアムプラン』とカスタマイズ対応 EC ソリューション「GMO クラウド EC」の『MakeShop エンタープライズプラ

ン』を合わせた導入店舗数は、2021年12月末時点で11,000件以上となっています。

今後もGMOメイクショップは、広範なEC領域において、店舗様が抱える様々な課題を解決できるよう、サービスの強化を図り、国内のEC市場の活性化に貢献してまいります。

以上

【報道関係お問い合わせ先】

- GMOメイクショップ株式会社
管理本部 広報担当 戸恒
TEL : 03-5728-6227
E-mail : pr@ml.makeshop.jp

【サービスに関するお問い合わせ先】

- GMOメイクショップ株式会社
「GMOクラウドEC」パートナー担当 小谷田
TEL : 03-6705-8608
E-mail : alliance@cloudec.jp

- GMOインターネット株式会社
グループコミュニケーション部 広報担当 新野
TEL : 03-5456-2695
E-mail : pr@gmo.jp

【GMOメイクショップ株式会社】 (URL : <https://www.makeshop.co.jp/>)

会社名	GMOメイクショップ株式会社
所在地	東京都渋谷区桜丘町26番1号 セルリアンタワー
代表者	代表取締役社長 向畑 憲良
事業内容	■プラットフォーム事業 (EC構築支援・ECマーケティング支援・EC運用受託) ■システムインテグレーション事業
資本金	5,000万円

【GMOインターネット株式会社】 (URL : <https://www.gmo.jp/>)

会社名	GMOインターネット株式会社 (東証プライム 証券コード: 9449)	
所在地	東京都渋谷区桜丘町26番1号 セルリアンタワー	
代表者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿	
事業内容	■インターネットインフラ事業	■インターネット広告・メディア事業
	■インターネット金融事業	■暗号資産事業
資本金	50億円	